▼タズベリク錠　［内］

【重要度】　【一般製剤名】タゼメトスタット臭化水素酸塩　Tazemetostat Hydrobromide　【分類】抗悪性腫瘍剤［EZH2 阻害剤］
【単位】▼200mg/錠
【常用量】1 回 800mg を 1 日 2 回［適宜減量］
【用法】1 日 2 回
【透析患者への投与方法】PK からは常用量（5）
【保存期 CKD 患者への投与方法】PK からは常用量（5）
【特徴】ヒストン等のメチル基転移酵素である EZH2 の酵素活性に対する阻害作用を有し，変異型 EZH2（Y646F 等）のメチル化活性を阻害することでヒストン H3 の 27 番目のリジン残基等のメチル化を阻害し細胞周期停止及びアポトーシス誘導を生じさせると考えられている．標準治療が困難な再発又は難治性の EZH2 遺伝子変異陽性の濾胞性リンパ腫に適用．
【主な副作用・毒性】骨髄抑制，感染症，味覚異常，消化器症状，脱毛，皮疹など多数
【安全性に関する情報】二次性悪性腫瘍の発現例が報告（1）主な有害事象は無力症，貧血，筋痙攣，消化器症状（Italiano A, et al: Lancet Oncol 2018 PMID: 29650362）FL/DLBCL での主な有害事象は血小板減少と味覚障害（Munakata W, et al: Cancer Sci 2021 PMID: 33492746）
【吸収】食事により tmax が延長（1）
【F】約 34%（1）31.8%（Chen Y, et al: Clin Pharmacol Drug Dev 2025 PMID: 39901520）
【tmax】1～2hr（1）
【代謝】主に CYP3A4 で代謝（1）
【排泄】尿中未変化体排泄率 1.4%［po，48hr まで］（1）糞便中に 78.9%回収（Chen Y, et al: Clin Pharmacol Drug Dev 2025 PMID: 39901520）
【CL/F】単回 175±90.4L/hr，反復 205±98.6L/hr（1）
【t1/2】7.6hr［単回］（1）
【蛋白結合率】88%（1）
【Vd/F】1600L/body（1）
【MW】653.65
【透析性】除去されないと思われる（5）
【O/W 係数】
【相互作用】CYP3A4 を誘導，CYP2C8 を阻害（1）CYP3A 4 阻害剤併用時は減量考慮（Orleni M, et al: Cancer Chemother Pharmacol 2024 PMID: 38520556）
【主な臨床報告】R-CHOP との併用治療成績（Sarkozy C, et al: Clin Cancer Res 2020 PMID: 32122924）
【更新日】20250507

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。